

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年01月21日

計画の名称	第2期 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	住田町													
計画の目標	住みよい環境とお互いに助け合う地域社会の形成を目指すため、住田町内の国道及び県道へのアクセスを円滑にし生活環境の確立を図り、豊かな自然に囲まれた快適で安全な町づくりを実現する基盤づくり													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		305	A	305	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	総合計画事業の5年間（令和2年度～令和6年度）における整備率を算出 総合計画事業の5年間（令和2年度～令和6年度）における整備率を算出 総合計画事業路線の5年間の整備率＝（整備着手路線延長／総合計画事業路線延長）×100	0%	24%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村 道	改築	（他）小台線	道路改良 310m	住田町		■	■	■	■	120		—
	A01-002	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村 道	改築	（他）小府金野々前線	道路改良 160m	住田町			■	■	■	50		—
	A01-003	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村 道	改築	（他）合地沢野畑線	道路改良 80m	住田町			■	■	■	70		—
	A01-004	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村 道	改築	（他）大平上組線	道路改良 100m	住田町			■	■	■	50		—
	A01-005	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村 道	除雪	（1）火石川向線ほか23路 線	除雪 30.3km	住田町	■	■	■	■	■	15		—
											小計						305		
										合計						305			

事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針、上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性	
1) 計画の目標が住田町の総合計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 計画区域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 計画区域の課題解決のための事業が選定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性がある。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標に対して十分な効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) ハードとソフトの連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
III. 計画の実現可能性	
1) ハード整備の必要性が整備されている。	○

[illegible]